



松戸市
よしみ
みわ由美



市川市
ふみこ
浅野ふみ子



船橋市
しんいち
丸山慎一



柏市
えいじ
加藤英雄

物価高騰から

円の為替乱高下、非正規ワーカー拡大、

大企業・大金持ち減税と消費税増税…暮らしは大変です。

日本共産党は9月県議会で生活を支える県政への転換を訴え、若者や精神障害をもつ人などへの支援を求めました。

暮らしを支える

学生が安心して学べる 社会めざして

日本の教育費への公的支出は、経済協力開発機構(OECD)諸国の中で最低クラス。県内の国立大学の授業料は年間53万5800円から64万2960円に値上げされるなど、高い学費が学生生活に暗い影を落としています。卒業後に返済する奨学金は一人平均300万円にもなります。

学生が学問を身につけることは、社会全体を豊かにし、進歩させることに繋がります。

日本共産党は、政府に対し、大学授業料の大幅引き下げと教育費の大幅増額を求めるよう知事に質しましたが、県は「国が適切に対応するもの」との答えに留まりました。県に、家賃補助制度の創設、奨学金代理返済の対象拡充などを提案したところ、「貸付けなどを実施している」「研究していく」などと消極的な姿勢です。

障害者医療費 精神2級も助成を

精神2級への医療費助成は、障害者団体、関係者の切実な願いです。県の障害者計画でも「医療費の患者負担が課題」と明記し、障害の種別や等級で対象外とすることは「社会的障壁」(障害者基本法)そのものです。

報道によれば、全国で条件付きを含め9県が精神2級を対象としています。日本共産党は、県に対して、すべての障害者を対象とした医療費助成制度の創設を国に求め、それまでは県独自の助成を迫りました。

精神2級への県独自支援について、県は「身体障害及び知的障害との均衡」を理由に、拒みました。



日本共産党はこれからも県民の願い**実現**へがんばります

先の総選挙で、自民党政治への厳しい国民の審判が下りました。日本共産党は、自民党の裏金づくりを追及し、選挙中も「しんぶん赤旗」が裏金非公認議員への政党助成金からの2000万円支給をスクープするなど自公政権

を追い詰めてきました。議席を後退させたことは残念ですが、今後も企業・団体献金全面禁止、社会保障拡充、選択的夫婦別姓制度導入などに全力をあげ、財界の利益最優先、日米軍事同盟絶対の政治の転換をめざします。



県政へチェンジ!





繰り返さない！ 乳児虐待死事件

昨年7月、生後11カ月の男児が母親の暴行疑いで亡くなりました。いかなる事情があろうとも虐待は絶対に許されません。千葉市の児童相談所がネグレクトで生後5日目から一時保護し、その後、保護者の他市へ転居により、市児相から県の児相に移管されました。県は、引き継ぎの際、乳児を一度も目視で安全確認せず、移管後の家庭訪問も1回きり。日本共産党は「虐待の恐れが高い家庭なのに安全確認の基本が極めて不十分で、虐待リスクの判断や対応を誤った」と厳しく指摘。県は「必要な対応をしていた」と強弁しました。



子どもも 明るい未来へ



先生をふやし、 少人数学級の拡充を

県内で学校に行けない、行かない小中学生は1万2千人を超え、過去最多。その理由は「勉強がわからない」「嫌がらせ、いじめ」など様々ですが、学校生活で傷つき、悩んでいる子どもたち一人ひとりと、その保護者に寄り添った対応が求められます。

そのためには、少人数学級の拡充と教員の増加が不可欠です。日本共産党は、県独自に先生を確保し、小中学校で一クラス33人の少人数学級を実施している山形県のとりくみを紹介し、県も決断するよう求めました。県は「教職員定数は国が措置することが基本」との従来の答弁を繰り返しました。

日本共産党千葉県議団は、
くらし、子育て、教育、
大型開発について
千葉県政を質しました。

PFAS 汚染の不安解消へ

海上自衛隊下総航空基地周辺で、有機フッ素化合物・PFAS 汚染が次々と明らかになり、県と柏市の水路調査では最大で国指針値の420倍。同様に柏市、鎌ヶ谷市、白井市の地下水・井戸調査でも最大700倍、3万5000ナノグラムが検出されています。日本共産党は、調査範囲の拡大と汚染実態の公表、浄水器購入補助、住民への血液検査と健康診断などを県に要求しました。

PFAS 汚染
(国指針値の)
700倍

突っ走る県政に
ブレーキ

巨大道路 ネットワーク整備

知事は「千葉県の発展に向け経済産業施策にとりくみ、高速道路ネットワークの整備を強力にすすめる」として、北千葉道路や圏央道、富津館山道4車線化などに加え、千葉北西連絡道路、新湾岸道路、東京湾アクアライン6車線化、東京湾口道路なども浮上しています。

この背景には、県経営者協会(経済界)の要望があります。今年も主要幹線道路の整備や企業誘致の推進を求めています。新しい道路ができれば便利になるかもしれませんが、県民が強く望む福祉や医療、教育を後回しにして良いのでしょうか。



▲ 圏央道の工事現場

2024年9月県議会 ＼県民の願いに応える政党は？／



主な意見書などへの態度 ○…可決・採択を主張 ×…反対・不採択を主張	共産党	自民党	立憲民主	公明党	国民民主
オスプレイの訓練中止を求める意見書	○	×	×	×	×
「マイナ保険証」への一本化を撤回し、 現行の保険証の存続を求める意見書	○	×	×	×	×
全国一律の最低賃金制と大幅引き上げを求める意見書	○	×	×	×	×
学校給食の無償化を求める意見書	○	×	×	×	○
消費税率5%以下への引き下げと インボイス制度の廃止を求める意見書の提出(請願)	○	×	×	×	×
教員の未配置を完全に解消するための 抜本的な対策を求める請願 (産休・育休の先読み加配を確実に活用する)	○	×	○	×	×